

愛宕山開発用地に関する協議結果について

愛宕山開発用地に関して、岩国市長及び山口県知事が協議を行いました。その概要は下記のとおりです。

記

- 1 日 時 平成 23 年 11 月 24 日（木） 10：45～11：45
- 2 場 所 山口県庁 財政査定室（本館 3 階）
- 3 協議者 山口県知事 二井 関成
岩国市長 福田 良彦

4 協議結果の概要

(1) 愛宕山開発用地の処分について

- ① 愛宕山開発用地の 4 分の 3 の区域については、国に売却する方向で、諸調整を進める。
- ② 岩国市がまちづくりを進める 4 分の 1 の区域について、市が整備を予定している用地（約 15ha）については、本年度中に市が取得する。県は、岩国市の用地取得に係る負担軽減を図るため、きらめき支援資金による無利子融資を検討する。
- ③ 政府要望に対する国からの正式な回答があり、実質的に赤字が解消される見込みが立てば、債務処理に当たって、岩国市の負担は求めない方向で調整する。

(2) 愛宕山の処分と再編問題との整合性について

- ① 岩国基地に係る米軍再編に対する容認について
 - ・ 福田市長から、他にも解決すべき事項があり、現時点では容認できないとの発言があり、県としては、岩国市の意向を尊重し、「容認」を求め続けるべきでない判断するとともに、再編問題に対する県・市の基本スタンスを実現するためにも、「容認」することは得策でないと考え、「容認」を売却条件としない。
- ② 普天間基地移設と空母艦載機移駐の関係について
 - ・ 県・市の基本スタンスは、国に理解していただいているものと考えている。
 - ・ 今後、議会での議論も考慮し、国の対応状況を見ながら、県・市の基本スタンスをいかに担保するか、県・市で協議した上で、最終的に整理する。

5 市長コメント

愛宕山用地に関する市の考え方やまちづくりエリアにおける県からの支援についての要望は、知事に御理解をいただけたものと受け止めたところです。

今後、本日の協議結果について市議会に説明し、県と最終調整を行い、国と協議してまいりたいと考えています。

なお、愛宕山用地の債務処理が円滑に行えるよう、赤字解消に向けての更なる県の取組みを期待しているところです。